

森林ボランティア「井手里山を守る会」のご紹介

「淡路市井手」

放置された里山があちこちで見受けられます。淡路島では特に荒れた竹林が拡大しており、景観が損なわれているのみならず、防災上でも危険性が高まり、里山の整備が求められています。

淡路市指定文化財である「題目石」周辺の里山保全を目的に「井手里山を守る会」を立ち上げました。原則毎月第1・3土曜日を活動日とし、竹の伐採、草刈り、遊歩道の整備、竹材の有効利用などのボランティア活動を実施し、平成26年度は50日、延べ305人で1996時間の活動を行いました。



「題目石」周辺



作業前の集合

主な活動

- 倒れた竹の整備、チェーンソーや鋸による竹や木の伐採、刈り払い機による草刈りを行っています。
- 苗木を植えたり、筍の収穫や、椎茸原木を伐採して種菌を接種し、椎茸を収穫しています。
- 伐採した竹を炭焼窯に入れて竹炭を作り、竹酢液を回収しています。
- 土壌改良材として竹チップを生産したり、「竹のプランター」・「竹の一輪挿し」などの竹細工作りで竹材の有効利用を進めています。
- 「筍掘り」「ひょうご森の日」などのイベントを開催し、地域住民との交流をはかっています。
- 「あわじ島竹取物語プロジェクト」、「いちのみや福祉まつり」などで竹細工教室を開き、イベントに積極的に参加しています。
- 周辺は数年前から猪の被害が多く、苗木の保護、椎茸や筍の保護を目的に電気柵を施工しました。その適正な運用に力を入れています。
- チェーンソーや刈り払い機、チップパー、切断機などの動力工具を使用しており、安全講習を受講し、毎回作業前に安全確認を行っています。



竹伐採と運搬



草刈り



筍掘りイベント



竹細工教室

実績と今後

- 平成21年から兵庫県「里山ふれあい森づくり事業」に取り組み5年間で2haの里山を整備し、管理を継続しています。
- 淡路市「ふるさと景観整備事業」に申し込み、桜の苗木50本の植樹をしました。毎年春にはきれいに花が咲いています。
- 平成26年度に「ひょうご森づくり活動賞」をいただきました。これを励みに森林ボランティア活動を続けています。
- 現在「森林・山村多面的機能発揮対策事業」に応募して年間2haの里山を整備し、苗木の植栽を行っています。
- 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会に加わり他団体と情報を交換しつつ、淡路県民局や淡路市の指導・支援を受けて活動を継続しています。
- 会員の高齢化が進む中、今後は、活動を通じて健康維持とやりがい・楽しみを見い出しながら活動していきます。